

Minami Kyushu University Syllabus									
シラバス年度		開講キャンパス	都城	開設学科	子ども教育学科				
科目名称	幼児と造形表現				授業形態	講義			
科目コード	750192	単位数	1	配当学年	1	実務経験教員担当	○	アクティブラーニング	○
教員氏名	園田 博一								
授業概要	本授業では、幼稚園教諭や保育士の養成を目的としている。幼児教育の教育者として必要な「表現（造形）」に関する基礎的な理解を得るための講義（演習）である。幼児期の造形表現の特性を知り、子どもの実際を学習する。実際の作品例を通して、多様な視点、柔軟な対処を学ぶ。指導の範囲と援助の意味を特に深く考える内容で授業を進める。								
関連する科目	教科教育法（図画工作） 図画工作演習、図画工作を履修することが望ましい。								
授業の進め方と方法	<ul style="list-style-type: none"> ・使用テキストにより幼児期の造形表現について学習する。 ・子どもの表現を理解し、発達段階の理解につなげる。 ・造形における多様な表現を体験し、表現の幅を広げる。 ・表現の基礎となる素描力を身に着ける。 ・情報技術を身に付け、活用できるようにする。（作品の映像保存、情報収集など） 								
授業計画	<p>第1回 序論 オリエンテーション、授業者紹介、自己紹介、授業の受け方について ・保育の中の造形表現とは何か。造形表現関わることの概要(全体像)を解説する。</p> <p>第2回 幼児造形表現の理解 発達と様式 幼児画の特徴・様式を知る。 ビデオを視聴しながら幼児の様子を知る。</p> <p>第3回 描画材料と素材 演習① ・幼児にとっての身近な素材を取り上げる。紙とクレヨン、鉛筆、色鉛筆、絵の具など。タブレットで作品を撮影し保存する。</p> <p>第4回 描画材料と素材 演習② ・用具：はさみ、のり、粘土、段ボールなど 扱い方についてビデオを視聴する。</p> <p>第5回 幼児造形表現の目標と内容 ・幼稚園教育要領解説を読み込む、「表現」の項目を熟読する。</p> <p>第6回 プログラムと環境 ・年間計画や園環境について考える。</p> <p>第7回 季節・年間の行事と表現活動の在り方を考える。 ・豊富な事例を解説し、深化を図る。</p> <p>第8回 指導案の作成、模擬授業の実践 ・簡易なものから始める。</p>								
授業時間外の学習	<p>【予習】 必ず指定したテキストを事前に熟読し、次回の講義内容を把握しておくこと。（約1時間）</p> <p>【復習】 受講後は内容を確認、復習しておくこと。（約1時間）</p>								
課題に対するフィードバック	レポートは評価後、返却及び解説をする。 制作物は返却し、コメントする。								
評価方法・基準	・実技課題への積極的取り組み、提出課題の評価及びレポート等、提出物の採点による方法でその割合は、授業中の参加態度（質問や発問を含む意欲）：30%、提出課題：30%、レポート：40%とする。								
テキスト	・保育をひらく造形表現 槇英子 2415円 大学生協で販売								
参考書	『芸術による教育』ハーバード・リード 『チゼックの美術教育』w・ヴィオラ著（黎明書房） 『美術による人間形成』ローエンフェルド』ローエンフェルド 『保育内容「表現」』平田智久・小林紀子・砂上史子編 ミネルヴァ書房：2200円								
備考	※受講生は、実技演習ができる服装が望ましい。（準備内容については、事前に予告する。）								